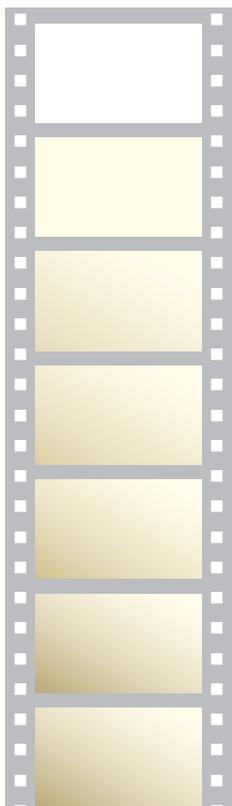


伸^{ノブ}さんのシネマトーク

鈴木 伸夫



第二十三回 「ケネディとコーラス」②

「シネマトーク」のエッセイを書くには、いろいろな資料で確認も必要ですが、昔からぼくは何でも捨てられない性格なので、現在は資料を整理し、いらぬものを捨てながら机に向かっています。しかし、48年前に自分が書いた原稿などがあることなど忘れていました。

作文のなかにも書いてありましたが、音楽部はその年（昭和38年）のNHK合唱コンクールへ初めて出場し、4位に輝いたのです。そのあと、文化祭が行われ、新聞部が記事にしてくれました。今回は4位入賞の音楽部が周りの人たちからどのよう評価されたかご紹介します。

昭和38年発行（発行日記載なし）学級新聞（愛知県立中村高校）

「我楽苦多5号」から

音楽部 発表について

新聞部

幕が開いた。ずらりと並んだその数、何んと50名近い。これには驚いた。

大所帯にもかかわらず、ハーモニーがとてもよく整っていたが、欲を言うともう少し曲目の選択を考えてほしかった。

たとえば、私達がよく知っていて、いつでも口ずさむ歌。これはピアノ独奏にも言えると思う。「エリーゼのために」はみんながよく知っている曲で、弾く人も聴く人も弾きごたえ、聴きごたえがあったと思う。しかし、ほかの曲は、音楽に興味を持っている人にだけしかわからない曲だった。

「ラ・クカラチャ」「心さわぐ青春の歌」は、聴いていてとても楽しかった。これからも口ずさむだろう。

さすが、NHKのコンクール第四位をとった実績のある音楽部。堂々としていました。

このような記事を新聞部が書いてくれました。この文章で、ぼくも音楽部の時は、夜遅くまで頑張ったことが思い出されました。そして、もうひとつ音楽部にいて忘れられないことがあったのです。

いまから48年前の昭和38年(63年)11月23日土曜日は勤労感謝の日で祝日でした。しかし、音楽部の練習が予定され登校しなければなりませんでした。ぼくはいつものようにバスに乗り、名古屋市内の中心地「栄町」(サカエマチ)(現在は栄)(サカエ)で乗り換え学校へ着きました。晴れの穏やかな休みの日。午前中で音楽部の練習が終わり、帰り道で再び乗り換えの栄町にやってきました。バス停に並ぶと「ケネディ大統領が暗殺されたんだって」という声が聞こえてきました。

折りしもその日は、日本とアメリカをテレビの生中継で結ぶ衛星中継(当時は宇宙中継と言った)の実験放送が行われることになっていました。ぼくはその中継放送を観ましたが(日本時間23日午前5時27分から20分間)、内容は、「日本の皆さまへ」というフリップ(図示カード)から始まり、アメリカの砂漠(アメリカ航空宇宙局のあるカリフォルニア州モハーヴェ砂漠)の映像が画面に出てきました。

「ただの砂漠か」と思ったのですが、この実験放送は、もう1回、計2回行われたのです。

2回目の放送時間（日本時間23日午前8時58分〜17分間）、ぼくはバスで移動中のため、2回目の放送は観てなかったのですが、2回目の衛星中継でケネディ大統領（JFK）の訃報が伝えられたとバス停の人に聞きました。

祝日、学校からの帰り道、知らない人から聞いたアメリカの現職大統領の暗殺事件。とてもショックな気持ちで帰宅したのを覚えています。

〈続〉

伸

平成23年7月